

スズカンエネルギーニュース 第1号

～安心・安全のために～



ゴムホースのひび割れに注意

これは、38年も前の話ですが、今は安全対策もかなり研究されています。例えば、**ガスコック**に工夫が施されていて、ガスが止まり先ほどのようなガス漏れが未然に防がれるようになっていきます。ガスボンベのガスの排出量が通常より多く出されると**ガスメーター**が検知して**安全装置**が働いて止まるようになっていきます。反面、安全装置が予期せぬ時に作動することもあります。例えば、通常の時よりガス多量に流れた場合や何か月か使っていなかった家でガスを使った場合などです。

このように安全対策が工夫されてきたお陰で、今は1年に1件事故が起こるかという状況です。変わってきました。実際に阪神淡路大震災の時は火災も多かったようです。くれぐれも安全対策を怠らないようにしてください。

皆さんに行っていたきたいのは、**ゴムホースなどのひび割れ**を見つけたら、交換する。安全装置がついていない機器は、交換する。もしすぐに交換できない場合は、必ず**ガスの元栓を止める**などです。

まずは、少しの時間で結構ですので、**定期点検**に、ご協力ください。つま恋ガス爆発を再発させないためにも。

史上最悪のつま恋ガス爆発を再発させるな！

スズカンの保安担当近藤正純です。

1年ほど前に行った講習会でのことです。年に2〜3回私どものようなガス販売を行っている保安担当者が集まって保安業務の改善や確認を行います。その時は、四日市の午起にある(株)ホームエネルギー東海様の事務所で行われました。その時は、地元のガス会社が10社ほど集まってきました。コロナの影響で中止が続きましたが、やはり安全のことですのでやるべきだとなって、ズームを利用し全国からも参加される形式で行われました。渡された資料に過去の事故事例が載っていました。そこで目に留まったのが、1983年11月22日12時45分に起こった**『つま恋ガス爆発事故』**です。史上最悪の事故と言われています。死者14人、負傷者27人に及ぶ被害でした。

ヤマハの子会社の飲食施設は、夏季はバーベキューハウス、冬季は和風レストランとして鍋物を提供していたそうです。その切り替えの際、作業員が調理器具を繋ぐ末端のガス栓を閉めずに器具の撤去を行い、99箇所のうちガス栓31箇所が開いたままの状態となっていたのです。営業初日に、ガスの元栓を開いた瞬間に31箇所からガスがもれ、事故後の調べによると平均使用量の2倍に達していたそうです。しかも**ガス漏れ警報器**は4機のうち2機が作動したものの残りの2機は整備不良のため作動しませんでした。記事によるとお客さんもガスの臭い気づいて、たばこなどを控えて注視していたらしいのですが、製氷機の火花が引火して大爆発に至ったそうです。



つま恋事故現場

前回 2022. 1 月分のキャッシュバックの結果お知らせ

◎ キャッシュバックでガス代がお安くなったお客様(件数) **91 件**

◎ キャッシュバック、ベスト3！(ガス代がお安くなったお客様のベスト3)

1位【値引き額】 - 25,000 円 【業種】 事業給食会社(津市)・弁当会社(四日市)

2位【値引き額】 - 12,000 円 【業種】 飲食店(カフェ)(桑名市)

3位【値引き額】 - 9,912 円 【業種】 中華店(四日市)

《キャッシュバックとは?》

スズカンでLPガスをご利用頂いているお客様が、スズカンで商品のご購入もしくは修理等が発生した場合、その金額に応じて翌月のガス代を値引するというシステムです。自動的にお値引きさせていただきますので、難しい手続きは要りません。

* 商品・修理代金¥10,000 からの対象となります。上限 100 万円まで (-100 円/m³)

* ガス使用量は、250m³/月までが対象となります。

* 対象とさせていただきますお客様は、

- ・業務用として弊社のガスを供給させて頂いている
- ・毎月のお支払い期日が確定している

その他、弊社規定により決めさせて頂いております。

発行元

スズカン株式会社



〒510-0072 四日市市九の城町 5 番 8 号

電話 059-351-5131(代)

ホームページ

<https://suzukan.co.jp>



保安担当 近藤正純です

私は、1999年、23年前に今の職場スズカンに入社いたしました。以前は、自動販売機の修理をしておりました。主にたばこの自動販売機です。

スズカンは、厨房機器が中心なので機械的なところのノウハウは、あまり生かせなかったですが電気に関する知識がとても役に立ちました。またスズカンでは、ガスの配管なども関係してくるので、そのあたりは全く分かりませんでした。

最初は、ありがたいことに**厨房機器の修理を担当**させていただきました。最初に修理したのは確か食器洗浄機です。不具合は、食器洗浄器の種火が点いたり、点かなかったりするというものでした。

当時は、教育などはなく、先輩に同行し横から修理のやり方を見て覚えるというものでした。最初に一人で行った仕事は、とても不安でしたが種火のところを分解掃除することで、不具合は解消されました。こうして少しずつ厨房機器の修理にも慣れていきました。こうして15年ぐらいに経った時です。

今の**保安業務**に仕事が変わることになりました。

ガスの定期点検をするには**資格が必要**ですが、スズカンに入ってすぐに取得してしまいましたので、そのあたりの苦労はありませんでした。

今は、資格試験も難しくなり、若手の子が苦労しているようです。

それ以上に修理の仕事との違いに戸惑いました。今までは、ガスを使用する末端のことだけを考えていれば良かったのですが、保安業務となると供給するところからが仕事の範囲に入ります。修理をしているときは、ボンベやガスメーター、安全装置など気にする必要はありません。極端なことを言えば、ガス器具が正常に使えるかどうかだけです。



(ガス点検作業中)

ガスボンベは、建屋の外にあります。外のあるガスを配管で、室内に持ってきているわけです。するとどうしても建物に関する構造的な知識が必要になります。大工さんの知識、そして実際に大工さんのような仕事もしなければなりませんでした

これは今でも苦労するときがあります。

保安の仕事をしたお陰で、修理の時はできるだけ調理の邪魔をしないように早く修理をするというところに、注力してまい

たが、今はそれ以上に爆発などの事故が起こらないことを、一番に気を付けています。スズカンで良かったなあと思うのは、小さい会社ですが商社です。色々なメーカーの機器を取り扱います。メーカーの修理の方などのお聞きすると、他のメーカーのことまで解るってすごいですねえと言われます。確かにメーカーの立場として、他社のメーカーの修理を請け負って、万が一直らなかつたら大変なことになります。しかも修理よりも自社の製品を買ってもらった方がよい訳ですから、サービスマンに他社の製品の修理もしないとは言えないのです。スズカンの修理は、そういう訳にはいきません。**お客さんが困って見えるのですから、最低限使えるようにしなければなりません。**技術を覚えることは大変ですが、自分の技術の幅も増え、お客さんの役にも立てるといところが、この会社で良かったなあと思えるところです。

現在は、保安業務を担当していますので、定期的にお客さんとお会いする機会があると思います。**保安に以外にも修理や機器のこともある程度は答えられると思いますので、お気軽にお声がけください。**



(ガス点検作業中)

スズカンからのちょっとお得なお話

補助金で、入居者の安心を確保する法

介護施設

クリニック

関係の皆様へ

都市直下型地震

大雨・洪水

南海トラフ巨大地震

大雪

などの自然災害が
もしも起きたら・・・

想定される
状況①

電気が止まり
停電

身動きのとれない高齢の入所者や患者さんは、施設に閉じ込められた状態になります。

照明が消える

情報手段が無くなる

エレベーターが止まる

介護用品が使えない

想定される
状況②

エアコンSTOP

冬場であれば
命取りになる可能性も

想定される
状況③

調理機器が使えない

電気が復旧するまで
食事が提供できない

皆さんへスズカンからの情報提供です。ガスで発電できるものがあります。これのいいところは、ガソリンや軽油は劣化していくのでいざという時に使用できない可能性もありますが、LPガスは燃料として劣化しません。電気を蓄電しようとなると、電池を使います。皆さんも経験していると思いますが、古い電池は白い粉を吹いて使い物になりません。考え方は同じです。

さらに良い点は、補助金が受けられる可能性があるということです。

補助金を申請したい方は、同封のパンフレットにて